

平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルランド  
代表者名 代表取締役社長 上西 京一郎  
(コード番号 4661 東証第 1 部)  
問合せ先 広報部長 宮内 良一

## 東京ディズニーランド、東京ディズニーシー 今後の開発構想について

4 月 28 日に発表した、オリエンタルランドグループ「2016 中期経営計画」（2015 年 3 月期～2017 年 3 月期）に関し、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーの今後の開発構想が固まりましたので、お知らせいたします。

既にお知らせしている通り、当社では今後 10 年間（2015 年 3 月期～2024 年 3 月期）で、テーマパーク事業に 5,000 億円レベルの投資を実行してまいります。

東京ディズニーランドでは、「ファンタジーランドの再開発」をコンセプトに、ファンタジーランドの面積を約 2 倍へと拡張する大規模なエリア開発構想の具体化に向けた作業を開始いたしました。この構想では、現在のファンタジーランドの刷新に加え、拡張するエリアへの複数の大型アトラクションやレストラン、ショップ等の導入を検討しております。

東京ディズニーシーでは、ロストリバーデルタの南側の拡張用エリアに、複数の大型アトラクションやレストラン、ショップ等で構成される 8 つ目の「新テーマポートの開発」を検討しております。

これらの大型投資以外にも、アトラクションやエンターテインメントの新規導入やリニューアルなど、パークに新たな体験を付加するようなハードの開発、およびレストランの更なる充実や混雑感の緩和、暑さ／寒さ対策など、ゲストの皆さまが快適に楽しめる環境づくりも積極的に行うほか、テーマパークを支えるバックステージにおいても、サポート機能を含めた運営基盤の更なる強化を目的とした投資を行ってまいります。

また、こうしたハードへの投資に加え、人財育成の強化にこれまで以上に取り組んでいくことで、ディズニー・テーマパークにとって欠かすことのできない「キャストによるホスピタリティ」を更に高めてまいります。

以上の通り、ハード・ソフトの両面での取り組みを通じてテーマパーク価値の最大化を図り、ここだけでしか体験できない魅力に満ち溢れた、世界で唯一のテーマパークとして更なる成長をしてまいります。

2 パーク大規模開発エリア



※画像は現時点での構想段階のものです。今後変更になる場合があります ©Disney

## 1. テーマパーク事業投資額

今後 10 年間（2015 年 3 月期～2024 年 3 月期）でテーマパーク事業に投じる 5,000 億円レベルの投資の内訳は以下を見込んでいます。

（投資の方向性）

対象	内容	投資額
東京ディズニーランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファンタジーランドの再開発（刷新・拡張）」</li> <li>・その他新規プロダクト投資</li> </ul>	4,000 億円レベル※
東京ディズニーシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロストリバーデルタ南側エリアにおける「新テーマポートの開発」</li> <li>・その他新規プロダクト投資</li> </ul>	
2 パーク共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャルイベントの展開</li> <li>・快適な環境づくりに向けた整備</li> <li>・更新改良（インフラ整備含む）等</li> </ul>	
バックステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート機能を含めた運営基盤の更なる強化 等</li> </ul>	1,000 億円レベル

※うち更新改良投資：1,500 億円レベル

## 2. 東京ディズニーランド、東京ディズニーシーの今後の開発構想

東京ディズニーランドにおける「ファンタジーランドの再開発」や、東京ディズニーシーにおける「新テーマポートの開発」を中心に、新規アトラクションの導入などテーマパーク価値の最大化に向けた投資を実行してまいります。

なお、「ファンタジーランドの再開発」については、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーにおける追加投資額としては過去最大となる予定です。

### ◆両パークの大規模開発構想について

	東京ディズニーランド 「ファンタジーランドの再開発」	東京ディズニーシー 「新テーマポートの開発」
概要	複数の大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等からなるファンタジーランド全体の再開発	複数の大型アトラクション、商品店舗、飲食店舗等からなる新テーマポートの開発
導入時期	「2016 中期経営計画」期間以降	「2016 中期経営計画」期間以降
開発エリア	現在のファンタジーランド全域（刷新）、およびトゥモローランドとバックステージの一部（エリア拡張） ※現在のファンタジーランドが約 2 倍となる規模	ロストリバーデルタの南側に隣接する拡張用エリア ※アラビアンコーストとほぼ同規模

東京ディズニーランド「ファンタジーランドの再開発」(イメージ)



東京ディズニーランド  
「ファンタジーランドの再開発」エリア

東京ディズニーシー  
「新テーマポートの開発」エリア



◆東京ディズニーランド、東京ディズニーシーにおける快適な環境づくりに向けた整備

レストランの更なる充実や混雑感の緩和、暑さ／寒さ対策など、ゲストの皆さまが快適に楽しめる環境づくりを積極的に行ってまいります。

<具体例>

- ・ショー鑑賞エリアの再整備
- ・レストランの更なる充実
- ・サービス施設の快適性向上
- ・IT環境の再整備

ショー鑑賞エリアの再整備の例 (イメージ)



東京ディズニーシーのメディテレーニアンハーバーに可動式の舞台などを導入することで、ショーの視認性が高まり、ショーを鑑賞できるエリアが広がります。(2015年3月1日より使用開始予定)

レストランの更なる充実の例 (イメージ)



東京ディズニーランドのパレードルート沿いに、食事を召し上がりながらゆっくりとパレード鑑賞ができるレストランの導入などを検討しています。

#### ◆サポート機能を含めた運営基盤の更なる強化

入園者数レベルとゲストサービスの最大化に対応すべく、テーマパークの運営基盤であるバックステージにおいて、サポート施設の拡充や、施設の移設による事業用地（テーマパーク用地含む）の創出を進めてまいります。

<具体例>

- ・ロジスティクスセンター、セントラルキッチンの近隣所有地への移設および拡充
- ・事務部門の一部機能を近隣所有地へ移転

本発表内容は現時点での構想段階のものです。各案件の詳細につきましては、決定次第あらためてお知らせいたします。

以上